

## 会議・行事の記録

会議名称	平成28年度 第1回八雲町文化財保護審議会
会議日時	平成28年6月27日(月)13時30分～14時30分
会議場所	公民館 第1会議室
◆出席者：○文化財保護審議会委員：井上会長・長坂副会長・幸村委員・長水委員・庄内委員。 ○教育委員会：田中教育長・足立社会教育課長・柴田文化財係長・大谷文化財係、服部熊石教育事務所主任。 ○傍聴者：なし。	
1. 開会 2. 挨拶 田中教育長 3. 委員・職員紹介 4月で職員の異動があったことから、各委員と職員が自己紹介を行った。 4. 議題 (1) 議案第1号 平成28年度文化関係事業の計画及び予算について 事務局より提案し、質疑なしで承認。 (2) 議案第2号 町指定文化財の理由書について ア 事務局より提案する。 教育委員会から諮問があった町指定文化財候補物件について、文化財保護審議会として資料4pのとおり答申してよろしいか。 イ 質疑 (ア) 委員より 八雲村概況図について、現物は巨大で傷んでいることからレプリカを作って展示するという事に決まっていたが、どうなったか。 事務局より 細密なレプリカについては検討中であるが、図を撮影した画像はあるため、それを印刷することはできる。実物は保存を主に考え、レプリカなどを展示するようにする。教育委員会議にて委員に見ていただく必要があるため、A3用紙等に印刷したものを配布するようにする。 (イ) 委員より 八雲村概況図には個人情報が含まれるため配慮が必要である。 事務局より 個人情報を隠すなど、配慮する。 ウ 答申案承認。 (3) 報告第1号 平成27年度文化財関係事業(下半期)の実施報告及び決算について ア 事務局より報告し、質疑なし。 (4) 報告第2号 郷土資料の寄贈・寄託状況について	

ア 事務局より報告。

イ 質疑

(ア) 委員より

木彫り熊について寄贈が沢山集まっているが、他地域で作られた観光土産の機械彫り木彫り熊も受けているのか。

事務局より

その地域で何が売られていたのか、特徴がわかるため、寄贈の申出があったものは今のところすべて受け入れている。今後は、似たものについては拒否するなど、収蔵スペースを考えながら収集したい。また、資料の中には虫がついてしまっているものもあるが、資料の貴重性などを考えたうえで受け入れをしていく。なお、資料保護のため今年度は燻蒸を行う予定である。

(イ) 委員より

例えば柴崎さんの熊など、町内の作家の木彫り熊を売るという申し出があった場合、購入を考えているのか。

事務局より

予算もなく、考えていない。あくまで寄贈、もしくは寄託いただくようお願いする。

(ウ) 委員より

オークションなどで八雲の木彫り熊が売り買いされているが、流出させないように措置がとれないか。町で購入が難しければ、町内の人でコレクターがいたら、その人を買ってもらって町内から出ないようにするなどできないか。

事務局より

難しいが、考慮したい。

(エ) 委員より

公民館講座木彫り熊講座の講座生の作品を寄贈してもらっているのか。

事務局より

講座が再開して4年目で、継続して受講している方は3名程度であり、まだ販売したり飾ったりするレベルとは言い難いため、文化祭での展示のみにしている。育成には10年ほどかかる認識でいる。

(4) 報告第3号 サテライト展示について

事務局より報告し、質疑無し。

(5) その他

ア 資料館と梅村庭園について、入館者数を報告した。

イ 6月25日に開催されたパノラマパーク10周年記念事業で木彫り熊を展示したことを報告した。展示を見て資料館にも足を運んだ方がおり、サテライト展示も含め外でのPRも重要と考えている。

ウ これまで熊石歴史記念館の解説をしてきた職員が退職し、他のOBの方も都合が悪かったため、文化財係2名が6月26日に熊石歴史記念館

にて74名の団体にむけて展示解説等を行ったことを報告した。記念館において解説ができる人をどう熊石地域で確保するか課題になりつつある。

エ 質疑

(ア) 委員より

丘の駅などで、熊のレリーフなど熊関連の商品は扱っていないのか。

事務局より

丘の駅では木彫り熊ストラップと木彫り熊ペーパークラフトセットを販売している。

(イ) 委員より

熊石の鮎川洞窟遺跡から出土したメノウ入り土偶は『八雲の社会教育』の文化財紹介ページに載っていないが、指定されていないのか。

事務局より

国指定重要文化財に指定されているが、国が所有しており、現在は国立歴史民俗博物館が管理しているため、『八雲の社会教育』に記載していない。

委員より

鮎川洞窟遺跡から、他に町指定文化財として指定するような重要なものは出土していないのか。

事務局より

以前の発掘の資料はあまり残されておらず、出土地点などが不明確なこともあり、指定するような資料はないと考えている。なお遺跡は道路の拡張などで破壊され、残されていない。

(以上)